

第7回市原湖畔美術館子ども絵画展

会期	2020年2月1日(土)～3月1日(日)
開館時間	平日／10:00～17:00、土・休前日／9:30～19:00、日・休日／9:30～18:00 ※最終入館は、閉館時間の30分前まで
休館日	月曜日(休日の場合、翌平日が休館)
料金	一般400(300)円／大高生・65歳以上の方300(200)円。()内は20名以上の団体料金。 中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方とその介添者(1名)は無料。
主催	市原市、市原湖畔美術館 [指定管理:(株)アートフロントギャラリー]
協力	小湊鐵道株式会社
協賛	株式会社中川ケミカル 
後援 (順不同)	一般社団法人市原市観光協会、市原ぞうの国、千葉日報社、 シティライフ株式会社、高滝湖観光企業組合、南いちほら応援団新聞 伝心柱



2020.2.1土 — 3.1日

テーマ わたしの好きな・好きだったもの

展覧会について

市原湖畔美術館では2013年のリニューアルオープン以来、年に1度市原市内の幼稚園、小学校から絵を公募し、「市原湖畔美術館子ども絵画展」を開催してきました。いずれもデザイナーやアーティストに会場構成を依頼し、単に絵を並べるだけでなく、空間全体が子どもたちのあそび場になるような空間を作ってきました。第7回目を迎える本展では、アーティストの鬼頭 健吾が会場構成を担当し、集まった約5500点の絵の中から入賞・入選作品約300点を展示します。

会場構成のみどころ

子どもたちの「好き」がぎゅっと詰まった絵画展

今年の絵画展の作品募集テーマは、「わたしの好きな・好きだったもの」。子どもたちが一枚の絵に表現した、それぞれの「好き」をご覧くださいませ。

アーティスト・鬼頭 健吾とのコラボレーション

子どもたちが描いた絵画作品は、鬼頭健吾が作り出す色鮮やかな作品とコラボレーションします。車やフラフープなど身近な物でカラフルに作られた作品は、子どもたちの「好き」な気持ちをより豊かに彩ります。

鬼頭 健吾について

1977年、愛知県生まれ。フラフープやシャンプーボトル、スカーフなど日常にありふれた既製品を使い、そのカラフルさ、鏡やラメの反射、モーターによる動きなど、回転や循環を取り入れた大規模なインスタレーションや、立体や絵画、写真など多様な表現方法を用いた作品を発表。それらは、現代の人工的な色彩感覚や輝きと、生命体や宇宙を感じさせるような広がりを混在させています。



館外展示について

小湊鐵道株式会社の協力のもと、応募作品の中から選ばれた入賞・入選作品を車両内やヘッドマークとして展示します。「走る美術館」として、子どもたちの絵を通じ、市原の暮らしに子どもたちの「好き」を届けます。



第2回市原湖畔美術館 子ども絵画展
小湊鐵道 × 市原湖畔美術館号 (2015年2月)

小湊鐵道 × 市原湖畔美術館号 運行日時：2/1(土)～2/15(土)

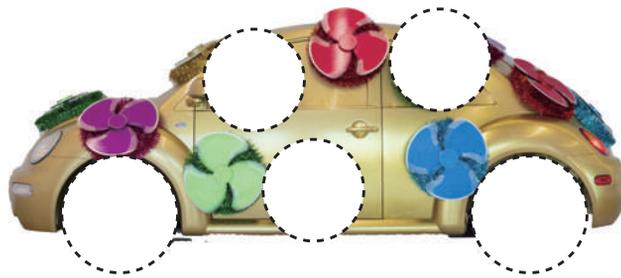
※運行車両の日時に関しては、決まり次第、市原湖畔美術館 HP にて掲載いたします。

※乗車料金は別途お支払いください。

関連イベントについて

館内スタンプラリー

会期中、館内の5箇所にスタンプポイントがあります。5つのスタンプを集めると、子ども絵画展オリジナルグッズがもらえます。(先着1,000名様、おひとり様1回のみ)



関連ワークショップについて

ピカピカひかる電飾掲示板に自由に絵を描こう!

好きな色を使い、アクリル板に絵を描いて、オリジナル電飾掲示板を制作します。作ったものは美術館に飾られ、「第7回市原湖畔美術館子ども絵画展」をより一層鮮やかに彩ります。

開催日時：2月9日(日)、13時～15時

講師：鬼頭 健吾 (アーティスト)

参加費：一組 500円 (別途、入館料がかかります)

定員：10組 (1組2名様まで/先着順、事前申込制)

※未就学児のお子様は保護者様の方と一緒に申込みください。

※お申込みは当館HPより。もしくは必要事項(参加イベント名「ピカピカひかる電飾掲示板に自由に絵を描こう!」、保護者氏名、参加者氏名・年齢、電話番号、住所、メールアドレス)をお電話・E-MAILにてお伝えください。

tel. 0436-98-1525 / info@lsm-ichihara.jp



鬼頭 健吾 《ghost sign》



参考画像



「第6回市原湖畔美術館子ども絵画展」会場イメージ
(開場構成：長谷川仁)



「第5回市原湖畔美術館子ども絵画展」会場イメージ
(開場構成：KOSUGE 1-16)



鬼頭健吾 《untitled》



鬼頭健吾 《untitled》

アクセス

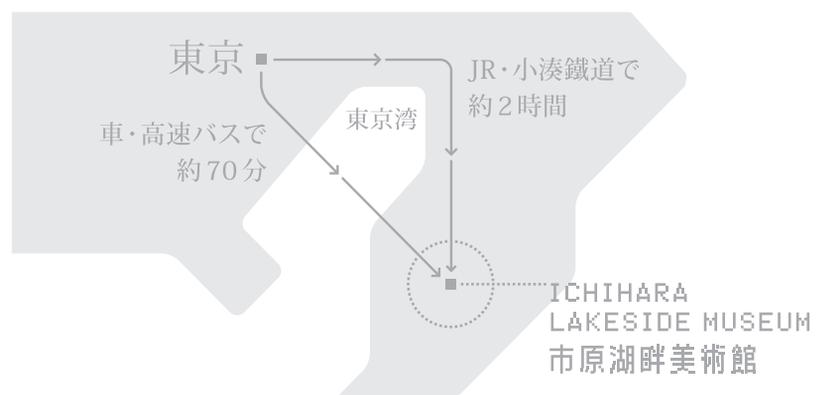
所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入 75-1

鉄道で：JR内房線五井駅乗り換え 小湊鐵道「高滝」駅より徒歩 20分

／レンタサイクル 10分／タクシー 5分

お車で：圏央道「市原鶴舞 IC」より約5分

高速バスで：東京駅／横浜駅・羽田空港より約1時間 [市原鶴舞バスターミナル経由、
タクシー利用約5分]



広報についてのお問合せ

市原湖畔美術館 担当：宮内

tel: 0436-98-1525 fax: 0436-98-1521

info@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

